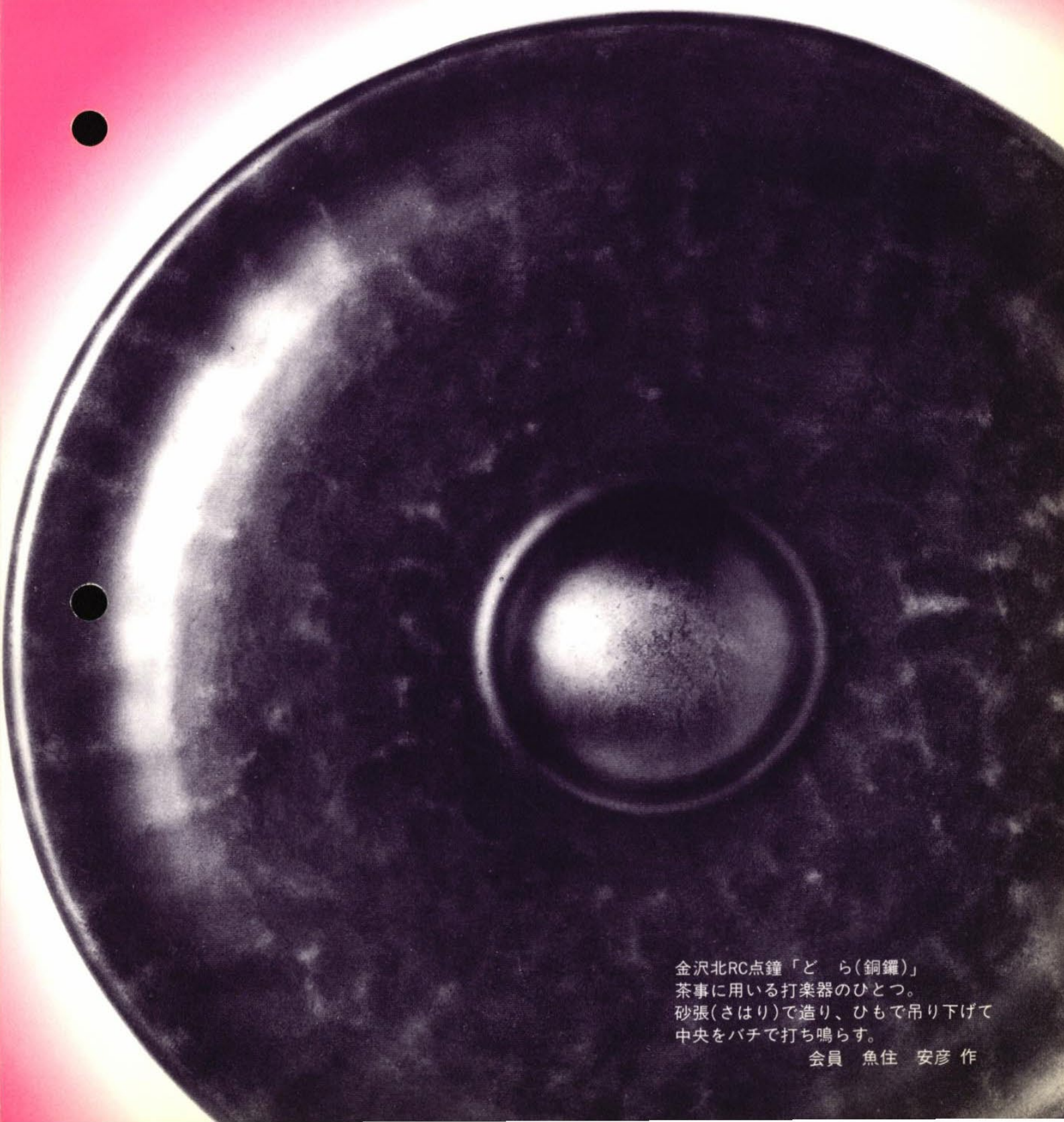


金澤北ロータリークラブ



金沢北RC点鐘「どら(銅鑼)」
茶事に用いる打楽器のひとつ。
砂張(さはり)で造り、ひもで吊り下げて
中央をバチで打ち鳴らす。
会員 魚住 安彦 作

新年を迎えて

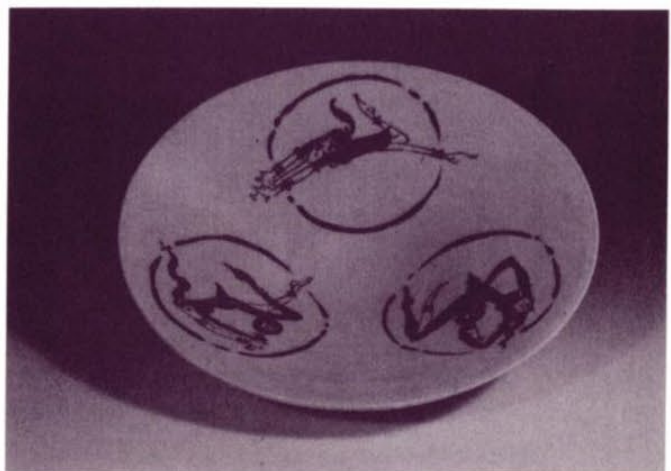
会長 中谷 栄 治



あけましておめでとうございます。平成九年の初春を迎え、会員皆様にはご清祥の由、心よりお慶び申し上げます。会長職を受け賜り、前半6ヶ月間が過ぎました。此の間幹事役員理事の皆様はもとより、ご家族の皆様にも大変なご協力を頂き、全員参加のもとクラブ活動、奉仕活動に素晴らしい成果を見る事が出来ました。心より感謝申し上げます。おかげ様で友好クラブとの交流、色々な同好会・趣味の会が誕生発足致しました。会員相互の親睦を深める機会がふえました。是非ロータリー活動と共に、ロータリーを楽しんで頂きたいと思えます。何卒後半もRIテーマ・地区テーマ、クラブテーマの「夢をかたちに」少しでも近づきたいと思えます。どうぞ後半も勢いよく船出しようではありませんか。会員皆様のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

金沢ロータリーギャラリー④

ギリシャ神話、
幼い頃、毎日の様に読んだ。
喰えない陶器家の日々、見つめデッサンしたインドの仏像達。
白髪を重ね、流れた夏のある日、
「マカラ神」の話しを聴いた。台風の神である。
「アッ」！
一瞬溶け込み、激しく睦み合い動いた。
「妖精」の誕生だった。
今でも不思議な思いがする。
東京グリーンギャラリーでの私の個展に出品した作品で、白磁に赤絵で妖精をかいたものです。思えば深い作で好評でした。



長谷川 塑 人

年 忘 れ 会

親睦委員長 松田 忠 秋

当クラブ恒例の年忘れ会は、12月19日(木)松魚亭にて開催されました。今年は、「ご夫人方を主役に」との思いから、例年と違って子供さん抜きの大人の集まりを試みしましたところ、未だかつてない100人ものご参加を頂き、担当させて頂いた側としても大変嬉しく、喜んでいる次第です。

催し物は、民謡の平山清司氏社中と、北陸の太鼓持ちあらい氏のお座敷芸の2本立てであり、前者には、中田(秀)委員の飛入り参加があり、後者には、「下以下下以下……」の高度の国語力を要する「以下づくし」の難問(?)が含まれていました。

一方、宴に先きそって開かれた芸術家の先生方による作品展も大盛況となり、113万円ものニコボックスを頂きました。大場会員、二塚委員を始めとする先生方のご奉仕に心からお礼申し上げたいと存じます。

当日は、本当のホワイトクリスマスにもなろうかという生憎の天候でしたが、満員の会場は、それを吹き飛ばすような笑いと熱気に盛り上がり、楽しい一時を過ごさせて頂きました。ご参加頂いた会員各位、ご夫人方を始め、準備企画運営に知恵と時間を割いて頂いた各位に対し、深く感謝申し上げて報告とさせていただきます。



